

# 国際開発論

担当教員： 松浦 正伸

履修年次・区分： 2年（専門－展開－共生・開発）

授業のテーマ： 国際開発は、「開発政治学」・「開発経済学」・「開発社会学」の3領域によって構成されている。中でもこれまで注目されてきたのは開発にとって重要な経済成長や社会政策であった。しかし、どのような政治体制であるのかを抜きに資源の動員・配分について論じることは出来ない。政治が国家を作り、国家が開発を行う主体となるためである。そこで本授業では、近年注目されている「開発政治学」の視点を軸に据えながら途上国の国家戦略について学ぶ。

この日の授業内容：プレゼンテーション



この授業では、学期の前半で途上国の開発、対策の現状、政治と国際開発の関係性等について学びます。後半では与えられたテーマに基づき、グループワークによるプレゼンを行い、援助国として日本に期待される役割や、どのように国際政治の中で開発が位置づけられているのか等を討論します。学生もプレゼンを評価するため、真剣に取り組めます。

この日のプレゼンテーマは世界の難民問題。ミャンマーのロヒンギャや、北朝鮮、シリア難民等、各チーム自由に事例を選び、発表のため議論を深めてきました。日本の果たすべき役割や、発表に対する先生からの鋭い質問にも、自分たちの考えを応える学生たち。世界を視る目が養われています。

(2018年1月取材)